

Q 鶴ヶ島市の住みよさ ランキング

長谷川 清 議員



A しっかりと受け止め、分析し、
政策に生かしていく

問 鶴ヶ島市の「住みよさランキ
ング」は。

答 株式会社東洋経済新報社が発
行した「都市データパック201
7年版」によると、本市は814
の市区中、総合評価で614位で
ある。評価基準中、利便度と裕福
度は比較的高評価だが、病院数や
特別養護老人ホームの定員数等を
基準とした安心度の評価が低い。

今回の結果が表す状況は市民生活
と必ずしも合致しないが、これら

客観的数値を用いた評価は、内容
を分析し、施策の参考にしていく。

問 市の最優先課題ベスト5は。

答 少子高齢化に起因する課題や
公共施設の老朽化への対応、将来
を見越した公共施設整備、教育問
題等、多岐にわたる。いずれも重
要なものであるため、順位付けは



困難である。

問 市民の不満や不安を把握、解
決する仕組みについて。

答 意見等を把握する仕組みを利
用媒体により複数用意している。
担当課で迅速に対応した後、情報
共有している。日常業務において
電話等で受けたものと併せ、市民
サービスの向上につなげたい。

◎その他の質問

一 鶴ヶ島市の子育て環境につい
て
二 市長の政策について

Q 中学生の部活動移動時 の安全について

杉田 恭之 議員



A 部活動での遠征にはヘルメット の着用を指導している

問 市内の中学校における部活動
時と部活動以外での過去5年間の
自転車事故件数は。

答 過去5年間の自転車事故は13
件であり、うち2件が部活動の遠
征の際の事故である。

問 市内の中学校でのヘルメット
の着用校は。

答 一部生徒に自転車通学を認め
ている鶴ヶ島中学校では、通学時
のヘルメットの着用を義務付けて
おり、自転車通学以外の生徒にも
部活動での遠征に自転車を利用す
る際の着用を指導している。

問 近隣他市の中学校でのヘルメ
ットの着用状況は。

答 多くの生徒が自転車通学をし



ている市町では、貸与や購入時の
一部補助などをし、着用を義務化
している。自転車通学の生徒が少
ない学校では、着用を強制してい
ないという市町もある。

問 自転車用ヘルメット着用の認
識は。

答 交通事故の被害軽減に有効で
あると認識している。交通規則の
遵守を促すとともに、保護者に対
して有効性を周知・啓発していく。

問 ヘルメットの支給又は貸与に
関する予算化は。

答 自転車通学の生徒が限られて
いるため、予算化していないが、
引き続き検討していく。